

## 涸沼環境学習報告

霞ヶ浦環境科学センターでは、ひぬまネットワークと環境政策課と連携して、涸沼環境学習を実施しました。

### 1 目的

涸沼がラムサール条約登録となったことを契機に、環境保護についての関心を高め、ラムサール条約や環境保全の理解を深めるため「涸沼環境学習」を実施しました。

郷土の貴重な自然である涸沼で環境学習を行うことで、自然や動植物への興味・関心を高め、動植物の生態を理解し、環境を保全する態度を養うことを目的としました。

### 2 内容

#### 野鳥の観察・水質調査

冬鳥が飛来する時期に、涸沼湖畔で専門家の指導のもとで野鳥の観察を行いました。また、涸沼の水質浄化も大きな課題であるため簡単な水質調査を行いました。

### 3 実際の環境学習

12月2日(水) 時間 9:30~11:10

銚田市立旭北小学校 3・4年生 26名 引率者 3名

講師 茨城県環境アドバイザー 雪入ふれあいの里公園 所長 川崎 慎二 先生

観察場所 銚田市 「いこいの村 涸沼」周辺の湖畔

野鳥の観察は、参加者各自に双眼鏡を配布するとともに、センターのフィールドスコープ2台を用意して行いました。観察できた野鳥は、オオバン、カイツブリ、コガモ、カルガモ、アオサギなどを見ることができました。ほとんどが、ロシアから涸沼へ渡ってきたものが多く、涸沼の魚や植物、シジミなどを食べています。野鳥の数は、エサの量と関係があり、エサが減ると野鳥の数も減ります。学校では、川崎先生による野鳥の剥製を使った解説がありました。水質の調査結果は、CODが2mg/Lでした。



湖畔での活動の様子



水鳥



野鳥の剥製を使った解説の様子

12月18日(金) 茨城町立長岡第二小学校 4年生 40名 引率者 3名  
茨城町立広浦小学校 4年生 10名 引率者 2名  
講師 茨城県環境アドバイザー 石井 省三 氏  
日本野鳥の会茨城県 飯田 直己 氏  
久野 雅代 氏  
新妻 美佐子 氏

観察場所

茨城町 「親沢公園」の湖畔



野鳥の解説の様子



剥製を使った解説の様子

野鳥の観察は、参加者各自に双眼鏡を配布するとともに、センターのフィールドスコープ3台を用意して行いました。2つの学校を4グループに分けて、4人の講師の指導のもとで実施しました。観察できた野鳥は、オオバン、カイツブリ、コガモ、カワウ、ミサゴ、トビ、アオサギなどです。石井先生による野鳥の剥製を使った解説や野鳥の羽根の話など楽しい観察会となりました。水質の調査では、CODが1～2mg/Lでした。

#### 4 まとめ

- ◎ 児童からは、たくさんの野鳥を見ることができた。野鳥の詳しい話を聞くことができた。といった感想がありました。
- ◎ 引率の先生からは、とても貴重な学習、充実した野鳥観察ができた。といった感想を頂きました。

\* NHK ニュースでの紹介、茨城新聞と茨城町広報誌での掲載、北館ナビではウェブページに掲載されました。

環境活動推進課 富田俊幸